



みやぎ

基本理念

私たちは、国立病院の使命を認識し、当院を利用されるすべての方々に信頼され、かつ満足していただける医療サービスと生活支援をめざしております。

分かりやすい説明と相談しやすい病院を創ります

宮城病院長 木村 格



宮城病院をご利用いただきありがとうございます。皆様はこの病院にどんな印象をお持ちですか？私たちスタッフは常により医療を安全に提供すること、しかもできるだけ苦痛のない快適な環境で提供できるように日夜努力しています。

時には、診察までの時間が長い、検査結果が出てくるまで何時間も待たされる、待たされるのは仕方がないにしても待たされることに対する説明がない。受付や看護スタッフ、担当医師の態度や言葉が丁寧ではない。病気について説明されてもよく分からないなどのご意見に対して、一つひとつ改善して行きたいと思えます。生命が何よりも優先される医療の場では、時には社会常識からかけ離れたことも避けられません。しかし、当たり前なのが自然に実施できる病院でありたいと思えます。

これまで、いかに医療安全に第一にして、一人ひとりの患者様に最も適切な医療を確実に実施すべきかに全エネルギーを傾けてきました。この医療の原点に加えて、いつでも自分が患者の立場だったら、自分の一番大切な家族や恋人が患者であったらという『心』を大切にしたいと思えます。真に患者様の目線に立った医療を提供したいと思えます。勿論、限られたスタッフ、限られた時間の中で多くの患者様に十分満足いただく医療を提供することはとても大変です。医療も現行の聖域なき大きな改革の中で、限られた資源をいかに配分し、いかに活用するかとても厳しい環境にあります。

スタッフはよい医療を実施するために学び、技を磨き、自己修練を続けています。よい医療をすることがスタッフ全員の願いであり、使命であります。病院をご利用いただく皆様の評価に答えられるよい医療を継続して行きたいと思えます。どんなことでもお気持ちのことはご遠慮なくご意見下さい。



ふれあい看護体験報告



5月12日、副看護師長を中心に企画したふれあい看護体験が行われました。今年のテーマは『患者さんとの心のふれあいを通し、みんなの心の中にある看護の心、ケアの心、助け合いの心に気づく時間をもつ』でした。中学生6名、高校生11名の計17名が参加しました。

午前中は、看護部長の講話、放射線科等の施設見学、血圧測定の実習や調理師から当院の献立の工夫などが紹介され、実際に特製ゼリー、流動食から普通食までを味わう体験をしました。午後からは、白衣を着て病棟での体験です。例年、患者さんとのコミュニケーションがむずかしいという声が聞かれますが、今年は言葉だけがコ

ミュニケーションではないこと、笑顔を返してもらったと、生き生きとした表情で発表した学生さんもいました。

このふれあい看護体験から『小さな看護の輪』が広がり来年もまたたくさんの学生が当院を体験場所を選んでいただけますように・・・。

ご協力をいただきました院内各部門の皆様ありがとうございました。

(あすなる 病棟副看護師長 渡邊いづみ)



職場紹介

～ b病棟～

b病棟は、神経内科・リハビリテーション科の混合病棟です。神経内科では主にALS(筋萎縮性側索硬化症)、パーキンソン病、脊髄小脳変性症の患者様、リハビリ科では脳卒中後遺症により、身体に麻痺が残っていたり、言語機能に障害が残り話すことが出来ない患者様などが入院されています。

ALSは、呼吸筋や嚥下の障害、四肢筋力低下などが起こる進行性の神経難病です。患者様の多くは生命を維持するため人工呼吸器を装着し、わずかな指の動きや目の瞬きを生かし、パソコンや文字盤を使いコミュニケーションをとっています。そのような患者様方の在宅での生活や施設入所の希望に向け、私たちは、本人・家族、そしてヘルパーや訪問看護師、往診医師、施設職員の方々との連携に力を入れています。また、積極的な延命治療を望まず最期を迎えたいと考えている患者様には、その方の生きる目標や希望を少しでも叶えられるよう援助しております。

リハビリ科では、訓練士による訓練のほかに、車椅子操作や排泄動作など、私たち看護師も日常生活動作の向上に向けて援助をしております。少しでもそれができるようになったときには、一緒に喜び、時には嬉し涙を流しております。障害を抱えながらも自分らしく生活していけるように、病院、地域、本人、家族ともに連携をとりながら患者様方が社会復帰できるように看護師として積極的に関わっていこうと思います。

患者様・家族との日々の関わりの中で大変なことも多くありますが、「ありがとう」という言葉や、笑顔を見ると私たちの励みになり、そのお互いの想いをこれからも大切にしていきたいと思っております。

(b病棟看護師 島崎 かほり)



開業して意外だったのは、重症の患者さんも診なければならぬことです。これには長期間入院させられない病院の事情や巨理の交通事情などがあると思います。

さらに、当院では訪問診療はやっていないに等しい状況ですが、医療費削減のため国は、今後療養型病床の減少や高齢者の在宅での介護を推進させることが決まり、訪問診療訪問看護の需要は増えるのが確実です。開業医が関与するのも当然でしょう。このような病気を持った高齢者は、合併症や急変は時間の問題ともいえます。肺炎その他の入院治療が必要な場合、患者さんを引き受けてくれる病院があれば心強いと思います。

これまで、宮城病院とは神経内科にお世話になることが主で、いつも詳細な返答を頂き感謝しております。また時折ですがCTを利用させていただいております。今後も病身連携を密にしてより良い医療を提供できればと思います。

(浜吉田駅前内科 板垣 洋一)



浜吉田駅前内科のご紹介

診療科 / 内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科
 住 所 / 〒989 - 2331
 宮城県亶理郡亶理町吉田字大谷地7
 電 話 / 0223 - 33 - 7377

生活習慣病を予防しよう ~ 高血圧症編 ~ 看護部から

高血圧というのは、おおむね、最大血圧140mmHg以上、あるいは、最小血圧90mmHg以上の場合をいいます。高血圧症は知らず知らずのうちに体を蝕み、脳卒中や心臓発作、腎不全などの恐ろしい病気を招きます。日常生活に気をつけ、正しい治療を行えば血圧は確実にコントロールできます。高血圧症といわれたら医師の指示をよく聞いて、食事療法や運動療法に取り組み、血圧を上げないような生活習慣を身につけましょう。

血圧管理のための日常生活の心がけ

1 気持ちの切り替えでストレスコントロール

血圧は精神状態、体調によっても変化します。リラックスする時間を持ちましょう


2 寒さは血圧の大敵

寒いと血圧はあがります。暖かいところと寒いところの温度差に気をつけましょう

3 お風呂はぬるめにゆったりと

熱いお風呂は血圧が急上昇します。40 くらいぬるめのお風呂につかりましょう

4 タバコは今すぐやめましょう。お酒はほどほどに

喫煙は脳卒中や心筋梗塞になりやすくなります。  お酒の飲みすぎは厳禁です

5 軽い運動を生活に取り入れよう

激しい運動は血圧を急上昇させますが、軽い運動は血圧を下げる効果があります

6 睡眠はたっぷり

睡眠中は血圧が下がり、よく眠ることによって疲労も回復します。



診療案内

平成18年7月1日現在

| 診療科別 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------------|-----------|-------|--------------------|---------------------------|---------------------|------------|
| 内科 | | 佐藤 智彦 | 木村 格 | 木村 格 | 佐藤 智彦 | 仙台医療センター医師 |
| 神経内科 | 新 患 | 木村 格 | 菊池 昭夫 | 久永 欣哉 | 木村 格 | 小野寺 淳一 |
| | 再 来 | 今井 尚志 | 今井 尚志 | 松本 有史 | 久永 欣哉 | |
| 呼吸器科 | | 芦野 有悟 | | | 平岡 宏太良 (高次脳機能障害) | |
| 消化器科 | | 阿部 毅 | 検査 | 検査 | 阿部 毅 | 検査 |
| 高血圧/リハ外来 | | 佐藤 智彦 | | | 佐藤 智彦 | |
| 循環器科 | | | 安田 聡 (東北大医師) | | | |
| アレルギー科 | | 堀川 雅浩 | 大島 武子 | 堀川 雅浩 | 大島 武子 | 堀川 雅浩 |
| 小児科 | 午 前 | 堀川 雅浩 | 大島 武子 | 堀川 雅浩 | 大島 武子 | 堀川 雅浩 |
| | 午 後 | | 小児アレルギー (堀川 雅浩) | (第1・3)乳児検診 | 療育相談 (大島 武子) | |
| 外科 | | 岩附 昭広 | 岩附 昭広 | 手術日 | 岩附 昭広 | 岩附 昭広 |
| 脳神経外科 | | 大友 智 | 安藤 肇史 | 大友 智 | 手術日 | 安藤 肇史 |
| 皮膚科 | | | | | 第4(木)のみ 東北大医師 | |
| リハビリテーション科 | | | | (第2・4午後)古澤 義人 (入院患者対象) | | |
| 歯 科 | | 中原 寛子 | 中原 寛子 | 中原 寛子 | 中原 寛子 | 中原 寛子 |
| 専門外来 | パーキンソン病外来 | | | 久永 欣哉 | | |
| | A L S 外来 | | | 今井 尚志 | | |
| | もの忘れ外来 | | | | 平岡 宏太良 | |
| | 漢方外来 | 佐藤 智彦 | | | 佐藤 智彦 | |
| | 頭痛外来 | 佐藤 智彦 | | | 佐藤 智彦 | |
| | 脳ドック | 佐藤 智彦 | | | 佐藤 智彦 | |
| | A G A 外来 | 佐藤 智彦 | | | 佐藤 智彦 | |

受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくこととなりますので予めご了承ください。

交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイントの位置です。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から JR常磐線山下駅下車、タクシーで約5分

相馬方面から JR常磐線坂元駅下車、タクシーで約5分

